

第 16 章 福岡新田遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

福岡新田遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の右岸、武蔵野台地の一段低い立川段丘面上で、標高 7～10 m 前後の平坦地に位置する。遺跡周辺は福岡江川が僅かに南に湾曲し、江川の侵食による蛇行なのか、埋没谷や湧水などの影響によるものかは不明である。江川から南に広がる窪地と周辺部には僅かな微高地状の起伏もみられる。

福岡新田は江戸時代の慶安年間（1648～52 年）に川越藩の新田開発により成立した村で、『新編武蔵風土記稿』によると、村域は江川左岸の「東西 25 町許、南北 5 町」とあり、東西約 2.7 km・南北約 500 m である。

遺跡範囲は当初、江川の北側にも延びていたが、北側は松山遺跡に統合し、南側のみを福岡新田遺跡とした。遺跡の範囲は南北 230 m、東西 240 m であるが、広がる可能性もある。

遺跡周辺は宅地開発もされるが、畑地も多く残っている。周辺の遺跡は、江川の対岸に松山遺跡、200 m 東側に鷺森遺跡、350 m 西側に駒林遺跡（2008 年駒林新田前遺跡と統合）がある。

本遺跡周辺の調査は、1982 年新田 2 丁目の試掘調査以来、2016 年 7 月現在 5 ケ所で実施している。2013 年 1 月、第 4 地点の本調査で奈良平安時代の住居跡 1 軒を検出、遺物も出土している。

II 福岡新田遺跡第 5 地点

(1) 調査の概要

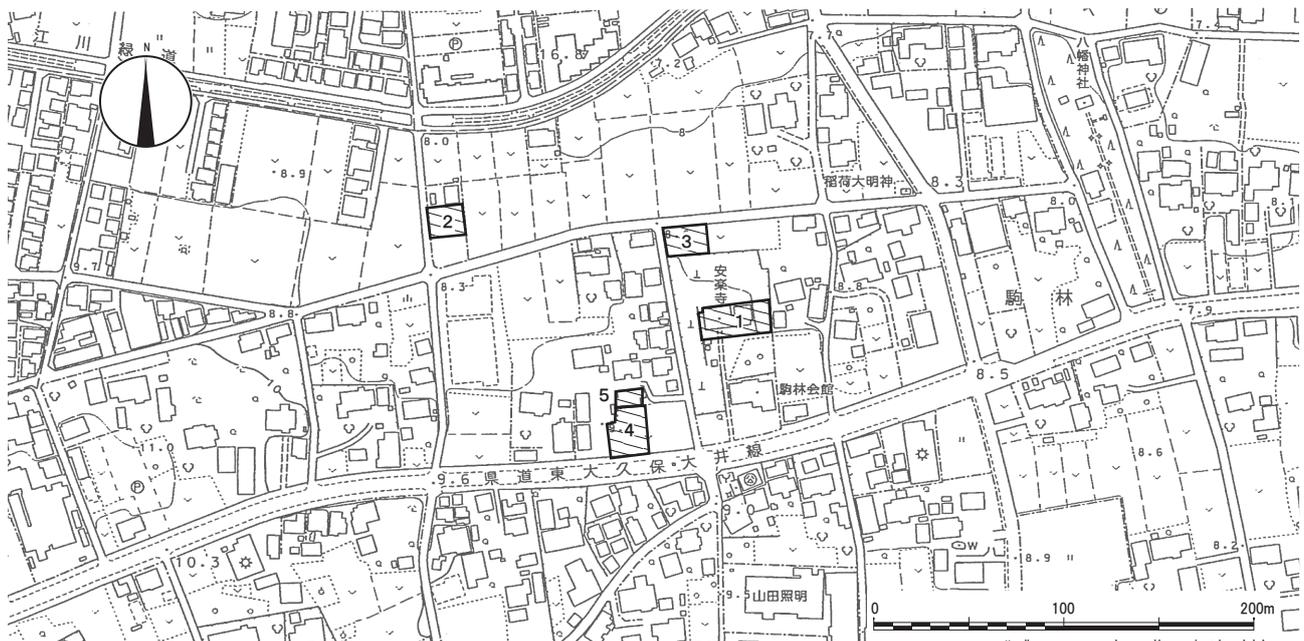
調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2013 年 10 月 9 日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。

申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2013 年 12 月 18 日～19 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約 1.5 m のトレンチ 2 本を設定し重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。

現地表面から地山ローム層までの深さは約 50～60 cm である。試掘調査の結果、調査区全体に攪乱がみられ、遺構と遺物は確認されなかった。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

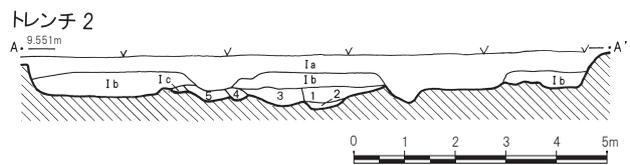
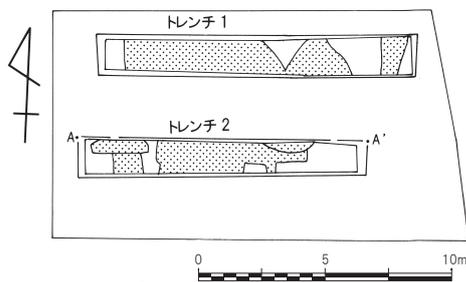
第 57 図 1 の遺物は、トレンチの攪乱から出土した平瓦である。厚さ 1.2 cm、重さ 165.01 g。近世以降。



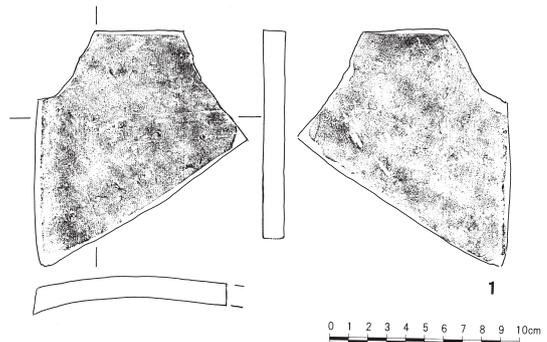
第 56 図 福岡新田遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第29表 福岡新田遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1982年度新田2丁目遺跡試掘	新田2-481~482	(1982.8.27~9.14)	1,454	民間開発	近世陶磁器、松山遺跡に変更	埋蔵文化財の調査(V)
1989年度新田遺跡試掘	新田字本新田400-1	(1989.6.22~27)	495	宅地造成	遺構遺物なし、松山遺跡に変更	埋蔵文化財の調査(12)
1991年度福岡新田試掘	駒林817-1	(1991.4.23~26)	482	個人住宅	自然堤防でなく後世盛土	埋蔵文化財の調査(14)
1991年度駒林新田試掘	駒林新田727-1-3	(1991.8.3)	2,186	共同住宅	遺構遺物なし、駒林遺跡に変更	埋蔵文化財の調査(14)
1992年度福岡新田試掘	中福岡362	(1992.7.17~22)	998	共同住宅	遺構遺物なし、松山遺跡に変更	埋蔵文化財の調査(15)
1	駒林字寺脇861-1、866-1、862・864・865の一部	(2007.10.9~24)	1,754	寺院建設	中・近世以降の土坑6、溝5、縄文土器、近世陶磁器	市内遺跡群4
2	駒林字寺脇841-3	(2011.9.12~14)	231	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群14
3	駒林字寺脇869-4	(2012.12.18)2012.12.19~21	281	個人住宅	土坑3、溝4、ピット10、土器	市内遺跡群15
4	駒林859-1	(2013.1.7)2013.1.8~23	568	駒林会館	平安時代住居1、土坑4、溝2、近世以降のイモビツ、土師器、陶磁器	市内遺跡群15
5	駒林寺脇852-2・7	(2013.12.18・19)	153	個人住宅	遺構なし、平瓦	市内遺跡群18



- I a. 黄褐色・暗褐色土 締り強、粘性有、近年の盛土及び攪乱、ローム土多く含む、最下部に緑灰色砂礫やや多く含む(トレンチ1の攪乱にはスサ入壁土多し)
- I b. 黒褐色土 締り強、粘性有、黄灰色味が有る、2cm以下ロームブロック・粒やや多く含む、東半は炭化物由来の黒色土を多く含む
- I c. 黒褐色土 締り有、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒やや多く含む
- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、黄灰色味が有る、5cm以下ロームブロック・5mm以下ローム粒多く含む
- 2. 黄灰色土 締り強、粘性有、シミ状に2cm以下ロームブロック少し、3mm以下ローム粒多く含む
- 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、5~20mmロームブロック・5mm以下ローム粒やや多く含む
- 4. 黄灰色土 締り強、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒多く含む
- 5. 黄灰色土 締り強、粘性有、5~20mmロームブロック少し、3mm以下ローム粒多く含む



第57図 福岡新田遺跡第5地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、出土遺物(1/4)



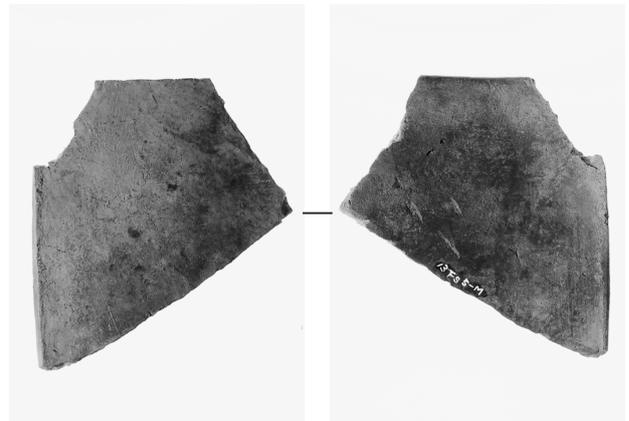
福岡新田遺跡第5地点調査風景



福岡新田遺跡第5地点トレンチ1



福岡新田遺跡第5地点トレンチ2



福岡新田遺跡第5地点出土遺物



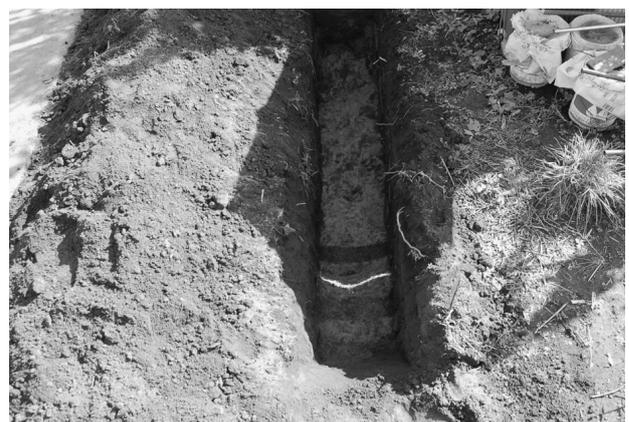
鷺森遺跡第5地点調査風景



鷺森遺跡第5地点トレンチ2



鷺森遺跡第5地点トレンチ3



鷺森遺跡第5地点トレンチ9